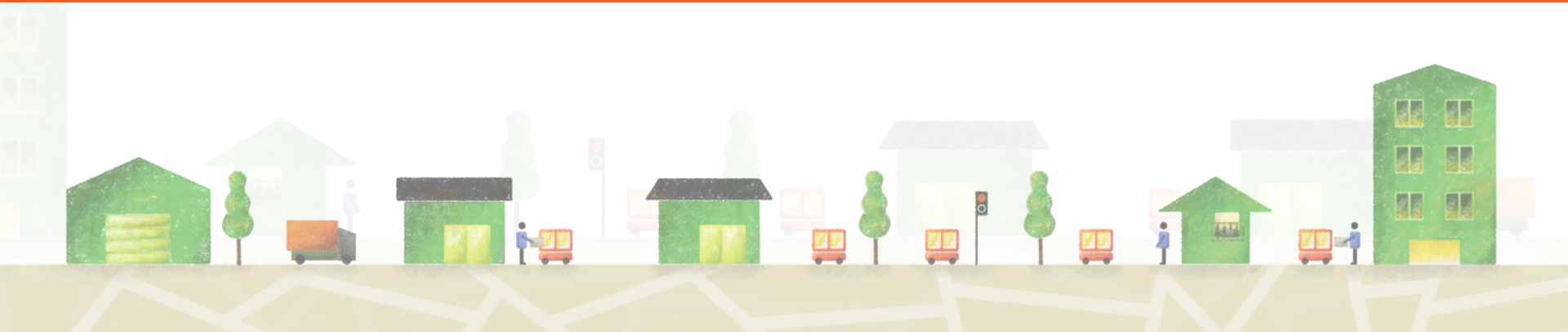




一般社団法人ロボットデリバリー協会 活動報告



遠隔操作型小型車の審査



ロボットデリバリー協会において安全基準適合審査を受け、交付された合格証を添付した上で都道府県公安委員会に届出を行うスキームとなっている。

9社

合格証交付済企業
(R5.6-R8.5)

1. 安全基準適合審査

ロボットデリバリー協会の安全基準への適合審査を実施



2. 合格証の交付・届出

合格証を添付し、各都道府県公安委員会へ届出

遠隔操作型小型車の事故情報の収集



ロボットデリバリー協会の審査を合格した遠隔操作型小型車の機体について、公道走行中の事故があった場合の情報を収集するスキームの運用を開始予定。



ロボットデリバリー協会
ROBOT DELIVERY ASSOCIATION

事故時に
情報を提供



ロボットデリバリー
提供者



- ✔ 提供者からの迅速な情報提供
- ✔ 事案次第で安全基準やガイドラインを見直し
- ✔ 業界全体でのナレッジ共有による再発防止

遠隔操作型小型車の複数台運用



遠隔操作型小型車のさらなる活用推進のため、1人の遠隔操作者が操作できる台数の増加について、ロボットデリバリー協会内での検討を進めている。

1:4の常時目視監視あり



1:Nの常時目視監視なし



- ✓ 1人の遠隔操作者が操作できる台数の増加
- ✓ 遠隔操作者の介入時の他の機体の運行継続
- ✓ 常時目視監視の必要性の検証

「国際物流総合展2025」への参画



2025年9月10日～12日において、「国際物流総合展2025」に主催者企画としてブース出展。自動配送ロボットの実機のデモやサービスの紹介を行った。



IECにおける国際標準開発への参画



IECにおいて、2022年から自動配送ロボットの安全基準開発を継続。
最終的な承認のフェーズに入る予定。



International
Electrotechnical
Commission

TC125 / WG6

General requirements for autonomous
cargo e-transporters

- 日本からの提案規格（IEC 63281-2-2 ED1: E-Transporters – Part 2-2: Safety requirements and test methods for autonomous cargo e-Transporters）について、TC125/WG6で2022年11月以降活動を継続（WG6のConvenorは、産総研の中坊嘉宏氏）。
- 近々、最終的な承認に向けた投票のステージに入る見通し。

※ロボットデリバリー協会は、IEC/TC125の国内審議団体としてJISCから指定を受けている